

平成25年度 事業計画書

1. 公益目的事業の継続

平成24年4月1日から公益財団法人岐阜県ジン・アイバンク協会として新たなスタートを切った。引き続き広く臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供医療機関相互の協力体制の確立への助成等を行い、併せて臓器移植を推進するために必要な事業を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした活動をする。

2. 臓器提供発生時の対応

臓器移植コーディネーターによる各医療機関との調整、臓器提供希望者の家族に対し、移植医療についての説明や承諾後の支援等、臓器提供が適切且つ円滑に行えるよう努める。

3. 臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供意思表示の普及推進

移植医療は臓器提供があつて初めて成り立つことから、県民一人一人に臓器移植に対する正しい理解を得られるよう各事業を行い、一般県民への普及啓発を進める。

(1) 関係医療機関等への周知

- ・平成22年7月17日の改正臓器移植法施行後、県内では6件の脳死下臓器提供が実施され県民の意識が高まる中、市町村、関係医療機関及び関係団体等に関する周知を図る。

(2) 臓器移植普及推進月間キャンペーンの共催及び支援

- ・10月の全国臓器移植普及推進月間を中心に、保健所、市町村、関係団体等の協力を得て、街頭キャンペーンを展開し、移植医療への理解の呼びかけ、臓器提供意思表示カード、免許証、健康保険証等への意思表示の普及を図る。

(3) 支援団体等の普及啓発講座

- ・支援団体等から一般県民への普及啓発効果を目的として、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際ソロプチミスト等の各支援団体に説明の機会を求めていく。

(4) メディア等を利用した普及啓発

- ・岐阜県の現状について新聞等を通じて広報し、県民が移植医療について関心を持つよう働きかける。

(5) 臓器提供意思表示カードの設置及び配布

- ・ 県民が利用する場所への設置や県内で開催されるイベント等での配布を行い、移植医療への理解を呼びかける。
- ・ 市町村庁舎、病院、学校、金融機関、薬局、運転者講習センター、自動車学校等におけるカードやポスターの設置を依頼する。
- ・ 成人式におけるカードの配布を各市町村に依頼する。

(6) 各団体等主催による普及啓発活動

- ・ 企業、団体、病院等が行うイベントに参加し、臓器移植普及啓発活動を行う。

4. 移植医療従事者及び医療機関相互の協力体制の確立に関する援助

医療機関が移植医療に積極的に関与することを目的とする。

(1) 医療機関の臓器提供体制の整備と教育事業

- ・ 院内臓器提供連絡調整員に対して、移植医療に関する情報交換や事例検討等を内容とした資質向上のための研修会を開催する。
(年2回予定)

- ・ 院内臓器提供連絡調整員及び臓器提供に関わる関係職員を対象に、シミュレーションやセミナー等を通じて各医療機関が移植医療に積極的に関与できるよう働きかける。
(年2回予定)

- ・ 各調整員の活動が活発化されるよう、施設内での研修会やシミュレーション等の開催時に臓器移植コーディネーターが参加すると共に、講師派遣や病院の希望に応じた支援ができるよう研修会費用等に対して助成する。

- ・ 県内医療機関に定期的に臓器移植コーディネーターが訪問し、病院の院内体制整備やマニュアル改正等に関する協力要請に応える。

- ・ 新規5類型施設に対し、院内体制整備の協力及び院内臓器提供連絡調整員を設置できるよう支援する。

- ・ 心停止下臓器提供可能施設に対し、移植医療についての周知を図る。
(懇話会1回予定)

- ・ 角膜提供事例発生時に速やかに摘出医の派遣を依頼できるよう、摘出医療機関及び協力施設との連携を強化する。

- ・医療機関向けのマニュアル『献眼のてびき』を作成し、県内医療機関との連携を図る。

(2) 移植医療普及活動

- ・関係団体等が開催する研修会において、移植医師と連携し、移植医療についての正しい知識と理解を呼びかける。（対象者：医療関係者、腎臓移植希望者とその家族等）
- ・県内透析医療施設に対し腎臓移植希望者調査を実施し、腎臓移植希望者の問診と組織適合検査を行う。（組織適合検査については、岐阜大学医学部附属病院に委託予定）

5. 腎臓移植希望者に対する支援

助成予定額：1,200,000円

【腎臓移植希望者の組織適合検査等の実施】

| 費用区分 | | 実施予定 5月・10月 新規登録・ 組織適合検査（30名予定） | 6月 登録更新者 血清保存（200名予定） |
|--------|--------------------|---------------------------------------|--------------------------|
| 検査費用 | | 37,000円 | 5,000円 |
| 内 訳 | 自己負担額 | 5,000円 | 2,000円 |
| | 協会助成額 | 20,000円 | 3,000円 |
| | (社)日本臓器移植ネットワーク補助額 | 12,000円 | |

6. その他

(1) 機関誌「ぎふジン・アイバンク便り」の発行

- ・県民や医療機関、支援団体の方々に当協会の活動を理解していただくため、機関誌「ぎふジン・アイバンク便り第12号」を発行する。

(2) ホームページの運営

- ・岐阜県における角膜、腎臓移植に関する情報を県民や医療機関の方々にお知らせできるよう、充実したホームページの作成に努める。

【ホームページアドレス】 http://homepage2.nifty.com/gifu_jinaibank/

(3) 理事会・評議員会の開催

| 開催日程・内容等 | |
|------------|-----------------------------------|
| 平成25年6月3日 | 第1回理事会 事業報告・決算承認・業務執行報告・評議員会開催決議等 |
| 平成25年6月18日 | 定時評議員会 決算承認・役員を選任等 |
| 平成25年6月 予定 | 第2回理事会（みなし決議の方法による）理事長及び副理事長の選定 |
| 平成26年3月 予定 | 第3回理事会 事業計画・予算承認・業務執行報告等 |

(4) 賛助会員の募集

目標額：1,410,000円

- ・透析医会・眼科医会を中心に、当協会の趣旨に賛同し、事業活動を積極的に支援していただける団体並びに個人賛助会員を募集する。

【団体】 一口 10,000円以上（市町村は人口割） 【個人】 一口 2,000円以上

(5) 寄附金の依頼

目標額：2,300,000円

- ・当協会の運営資金は、ライオンズクラブ国際協会334-B地区をはじめ、関係支援団体及び県民の皆さまからの善意の寄附金によって支えられている。また、特定公益増進法人となり、寄附者の皆さまには、寄附金控除等の優遇措置が受けられるため、より多くの皆さまに当協会の事業活動に対して、理解し支援していただけるよう働きかける。

(6) 募金活動

目標額：270,000円

- ・当協会の事業活動に対し一般の理解と支援を求めるため、関係医療機関、各事業所の協力を得て募金箱の設置活動を行う。

(7) 研修会への参加

- ・全国アイバンク連絡協議会、全国腎バンク連絡協議会、（社）日本臓器移植ネットワーク定期連絡会議等へ協会職員を派遣し、各種情報の収集と臓器移植コーディネーターとしての研鑽に努める。

| 会議・研修会名 | 会場・開催月 |
|---------------------|-----------------|
| ・臓器移植コーディネーター定期連絡会議 | 名古屋市 (毎月1回) |
| ・第26回日本脳死・脳蘇生学会 | 東京都 (平成25年 6月) |
| ・第29回腎移植・血管外科研究会 | 青森県 (平成25年 6月) |
| ・全国アイバンク連絡協議会 | 東京都 (平成25年 7月) |
| ・第49回日本移植学会総会 | 京都府 (平成25年 9月) |
| ・全国腎バンク連絡協議会 | 東京都 (平成25年11月) |
| ・中日本支部移植コーディネーター研修会 | 名古屋市 (未定) |
| ・都道府県移植コーディネーター研修会 | 東京都 (平成26年 1月) |
| ・第47回日本臨床腎移植学会 | 奈良県 (平成26年 2月) |
| ・第19回中日本支部腎移植臨床検討会 | 名古屋市 (平成26年 3月) |
| ・東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会 | 富山県 (平成26年 3月頃) |